

岸

ガン
きし

3年

8画 山 山 山 岸 岸 岸



なりたち 山と山と山(山)との会意形声字。山の、海に突き出て崖状(がいざう)に切り立った所(断崖(だんがい))を表した字。水ぎわの崖(がい)。転じて、水ぎわ。きしの意味に用いられる。本来は、「崖」と同じ意味の字。

いみじゆく
▼水ぎわ。きし。
岸壁(かき)：①けわしく切り立った岸。②船を横づけするためにつくった波止場。
海岸(かいがん)：陸が海に接している所。
沿岸(えんがん)：①海・川・湖などに沿った陸地の部分。②海・川・湖などの、陸地に近い水の部分。**例**沿岸漁業
対岸(たいがん)：向かい合った岸。
接岸(けつがん)：舟が岸に横づけになること。岸に接するの意味。
彼岸(ひがん)：①向こう岸。②迷いの世界(此岸(こゝ)から彼岸(あなただけ)へ)から抜け出た悟りの世界。
③春分・秋分の日を中日とした前後七日間のこと。また、そのころの季節のこと。
④彼岸会(仏教で春秋の彼岸に行う法事)のこと。

さんこう 特別なよみかた↓
河岸(かき) 河岸(かき)

炭

タン
すみ

3年

9画 山 山 山 岸 炭



なりたち 山と山と山(山)と火(火)の会意形声字。山から掘り出された燃料となる「石炭」を表した字。木を焼いて作る燃料を「木炭」と呼ぶ。

いみじゆく
▼すみ。
木炭(もくたん)：木を焼いて作った燃料。
薪炭(しんたん)：薪と炭。
塗炭(ぬたん)：「塗」は泥水、「炭」は炭火。泥にまみれ火に焼かれる苦しみ(非常な苦しみのこと)。**例**塗炭の苦しみ。

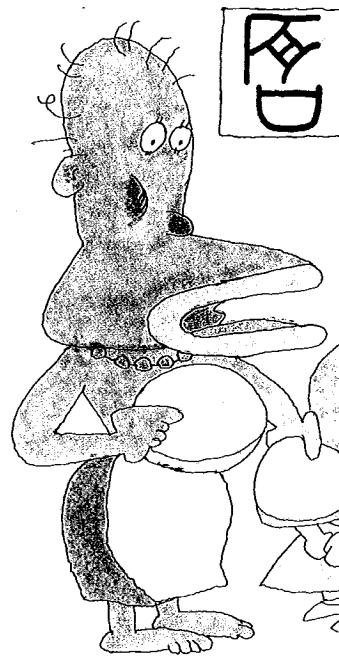
▼石炭。
炭坑(たんけい)：石炭を掘り出す坑。
炭鉱(たんこう)：石炭を掘り出す鉱山。
炭田(たんでん)：石炭を多く含んでいて採掘が行われている地域。
採炭(さいたん)：石炭を採掘すること。
亜炭(あたん)：品質の悪い石炭。
黒炭(くろたん)：普通の石炭。黒くてつやがある。
無煙炭(むえんたん)：品質の良い石炭。燃える時、煙があまり出ない。
▼化学元素の一つである「炭素」の略。
炭化(たんか)：有機化合物が燃焼などにより炭素だけになること。

唇

シン
くちびる

10画 厂 厂 唇 唇 唇

なりたち 貝が足を出した形をかたどった唇(しん)と、口との会意形声字。貝の赤い足に色も形もよく似た「くちびる」を表した字。本字は「脣」で、唇と肉体の意味の月(にくづき)との会意形声字。



いみじゆく
▼くちびる。
口唇(くちん)：くちびる。
紅唇(こうしん)：赤いくちびる。

震

シン
ふるう・ふる

15画 雨 雨 雨 震 震 震

なりたち 神の意を借りた辰(しん)と雨との形声字。雨の神である「かみなり」を表したものの。雷鳴(かみなり)が天を震(ふる)わせた地を動かすので、「ふるわす」の意味になり、「ふるう」転じて、「ふるえる」の意味に用いる。



いみじゆく
▼震わす。震える。
震動(しんどう)：震え動くこと。
地震(ちしん)：地震。
余震(よしん)：大きな地震の後に来る小さな地震。
耐震(たいしん)：地震が起こっても十分に耐えられ、壊れないこと。

例耐震建築
震源(しんげん)：地震が発生した場所。
震源地(しんげんち)：地震の発生場所。
震災(しんざい)：地震による災害。
ミニ知識 地震のゆれの強さは、感じる程度によって震度で表し、震度0(無感)から、一(微震)・二(軽震)・三(弱震)・四(中震)・五(強震)・六(烈震)・七(激震)がある。また、地震の規模・大きさはマグニチュードという単位で表し、地震計のふれ幅から計算する。

唇震

岸炭